

令和2年5月14日
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号炉 設置変更許可申請に係る補足説明資料
における主な変更内容について

本日提出する設置変更許可申請に係る補足説明資料について、令和2年5月7日提出からの主な変更内容は添付資料のとおりとなります。

【添付資料】

島根原子力発電所2号炉 補足説明資料の主な変更内容（令和2年5月14日）

以 上

島根原子力発電所2号炉 補足説明資料の主な変更内容（令和2年5月14日）

資料2-1：島根原子力発電所2号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて

変更箇所	内容
P10	・記載の適正化 (アクセスルート及びサブルート の定義を追記)
P12	・記載の適正化 (屋外アクセスルートを複数設定していることの図を追加)
P14	・記載の適正化 (第1保管エリアに配置するn設備を追記)
P15	・記載の適正化 (地滑りが発生する起因を追記)
P29, 44, 57	・記載の適正化 (周辺構造物の耐震評価一覧に、外装材以外の被害有無を追記)
P39	・記載の適正化 (2号炉鉄イオン溶解タンク漏えい時の対応内容に防護具着用を追記)
P46	・地山と埋戻部との境界部について、地山に勾配を設けて掘削した箇所を評価対象として追加 ・段差及び傾斜の判断基準について、概念図を追加
P49	・浮き上がりに伴う段差への対策について、段差緩和対策から地盤改良等により浮き上がりを防止する記載へ変更 ・段差緩和対策例(浮き上がり)の図を削除
P63	・記載の適正化 (第4保管エリア(EL8.5m)以外の保管場所が高台である旨を追記)
P72	・記載の適正化 (土石流発生時の重大事故等対応にあたって、土砂撤去によるアクセスルートの復旧に期待しない旨を追記) (土石流発生時の要員の移動について、アクセスルート(要員)を用いた徒歩である旨を追記)
P74	・記載の適正化 (保管場所の変更を実施した設備がn設備及び資機材である旨を追記) (ディーゼル燃料貯蔵タンクを使用した燃料補給手順を自主対策手順からSA手順に変更したことを追記)
P79	・記載の適正化 (海を水源とした注水の想定時間の考え方を追記)
P83	・有効性評価において、ディーゼル燃料貯蔵タンクを使用した場合の成立性確認について、タイムチャートを追加
P88	・記載の適正化 (タンクローリによる想定時間変更のタイムチャートについて、資料の整合の観点から、過圧・過温破損防止から全交流動力電源喪失シナリオへ変更)
P94	・記載の適正化 (第二輪谷トンネル出入口部における斜面の安定性に関する説明方針を追記)
P97	・外装材以外の部材等の耐震設計・評価方針を追記
P99, 101~106	・車両同士の離隔距離について、加振試験による変位量を考慮した離隔距離を追記 ・最小離隔距離等を追記
P117	・保管場所を変更した設備の一覧を追加
P120~122	・記載の適正化 (海水取水箇所の確保についてを参考扱いに変更)

資料 2-3 : 島根原子力発電所 2 号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について

変更箇所	内容
1. 0. 2-13 (P22)	・記載の適正化 (アクセスルート及びサブルートの定義を追記)
1. 0. 2-20 (P29)	・記載の適正化 (地滑りが発生する起因を追記)
1. 0. 2-33 (P42)	・記載の適正化 (第 1 保管エリアに配置する n 設備を追記)
1. 0. 2-109 (P118)	・浮き上がりに伴う段差への対策について、段差緩和対策から地盤改良等により浮き上がりを防止する記載へ変更
1. 0. 2-110 (P119)	・段差緩和対策例 (浮き上がり) の図を削除
1. 0. 2-111 (P120)	・段差及び傾斜の判断基準について、概念図を追加
1. 0. 2-111, 112 (P120, 121)	・地山と埋戻部との境界部について、地山に勾配を設けて掘削した箇所を評価対象として追加
1. 0. 2-113 (P122)	・地山と埋戻部との境界部について、地山に勾配を設けて掘削した箇所の評価結果を追加
1. 0. 2-332 (P341)	・記載の適正化 (除灰時間の層厚条件について変更)
1. 0. 2-337 (P346)	・記載の適正化 (第二輪谷トンネル出入口部における斜面の安定性に関する説明方針を追記)
1. 0. 2-365 (P374)	・記載の適正化 (第2-66kV開閉所屋外鉄構の評価方法について変更)
1. 0. 2-371, 372 (P380, 381)	・記載の適正化 (周辺建造物の耐震評価一覧に、外装材以外の被害有無を追記)
1. 0. 2-387, 388 (P396, 397)	・浮き上がりに伴う段差発生に関する記載を削除
1. 0. 2-520 (P529)	・記載の適正化 (土石流発生時の重大事故等対応にあたって、土砂撤去によるアクセスルートの復旧に期待しない旨を追記) (土石流発生時の要員の移動について、アクセスルート (要員) を用いた徒歩である旨を追記)
1. 0. 2-521, 522 (P530, 531)	・記載の適正化 (保管場所の変更を実施した設備が n 設備及び資機材である旨を追記) (ディーゼル燃料貯蔵タンクを使用した燃料補給手順を自主対策手順から SA 手順に変更したことを追記)
1. 0. 2-528 (P537)	・記載の適正化 (海を水源とした注水の想定時間の考え方を追記)
1. 0. 2-533 (P542)	・有効性評価において、ディーゼル燃料貯蔵タンクを使用した場合の成立性確認について、タイムチャートを追加
1. 0. 2-535 (P544)	・記載の適正化 (第 4 保管エリア (EL8.5m) 以外の保管場所が高台である旨を追記)
1. 0. 2-605~607, 609, 612 (P614~616, 618, 621)	・車両同士の離隔距離について、加振試験による変位量を考慮した離隔距離を追記 ・最小離隔距離等を追記
1. 0. 2-619 (P628)	・記載の適正化 (タンクローリによる想定時間変更のタイムチャートについて、資料の整合の観点から、過圧・過温破損防止から全交流動力電源喪失シナリオへ変更)
1. 0. 2-623 (P632)	・保管場所を変更した設備の一覧を追加

以上